

迅速コースコーディネート 中間報告

(100日プロジェクト)

2004. 12. 16~17

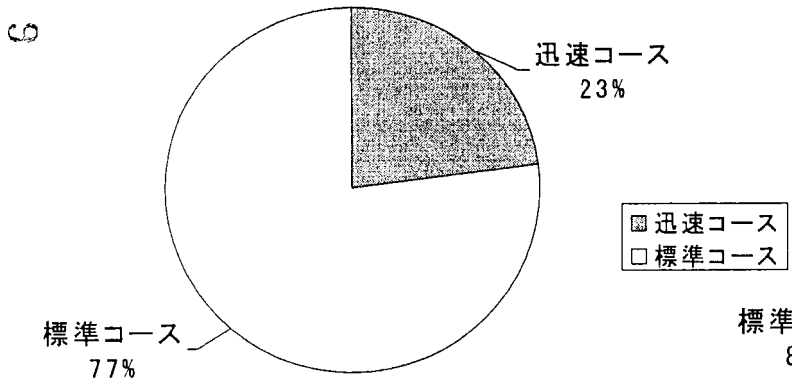
迅速コースの考え方

患者ごとの移植希望日を目標とするのではなく、ドナーごとに各行程の目標日を設定し、期間管理コーディネートを実践して目標に近づけます。

ドナーへの説明は、初期段階で採取日までのスケジュールを提示して、日程調整が可能かどうか、またご希望以外の施設での調整が可能かどうかを確認します。ドナーコーディネートの基本理念である自由意思の確保、安全性確保を守りつつ、調整可能なドナーを迅速コースとして進めます。

迅速コース希望の割合(患者)

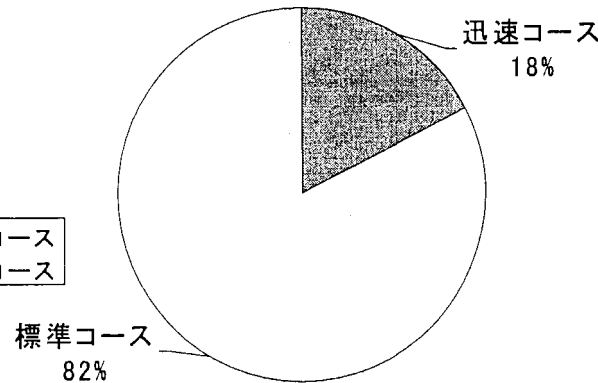
8/16~11/15 国内患者登録	365人
" " 迅速コース希望	85人 (23%)
~8/16登録患者のうち迅速コース希望	28人
11/15まで迅速コース希望 計	113人



期間中の迅速コース希望者は、国内患者数※365人に対して、85人(23%)になりました。また、8/15以前に登録されている患者で迅速に変更された方は、28人です。
※国内患者のみ対象としています。

迅速・標準コースの割合(ドナー)

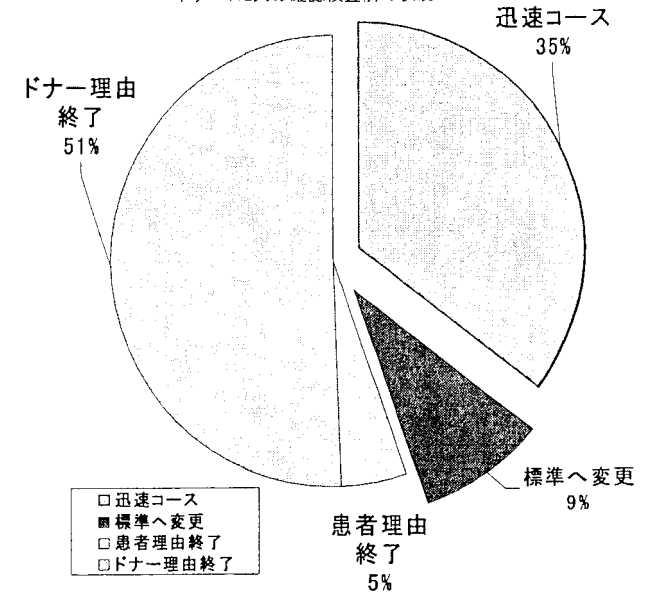
(8/16~11/15 コーディネート開始ドナー 4376人)



期間中の迅速コースの対象となったドナーは、772人(18%)でした。
※標準コースには、海外患者とのコーディネート対象ドナーを含みます。

迅速コースドナーの状況

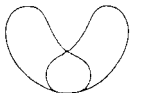
8/16~11/15に迅速コーディネートを開始したドナー772人の確認検査前の状況



迅速コース対象となったドナー772名の内、健康上の問題等で終了となったのは、51%です。これは、標準コースとほぼ同じ割合です。

また、患者理由で終了となったり、ドナーの日程などが合わず、標準コースとなったケースは、それぞれ5%と9%でした。

コーディネートを進めることができたドナーの割合は44%で、その内、迅速コースの割合は、35%、標準へ変更となった割合は、9%でした。すなわち、コーディネートを進めることができたドナーの内、約80%のドナーが迅速コースを応諾しています。

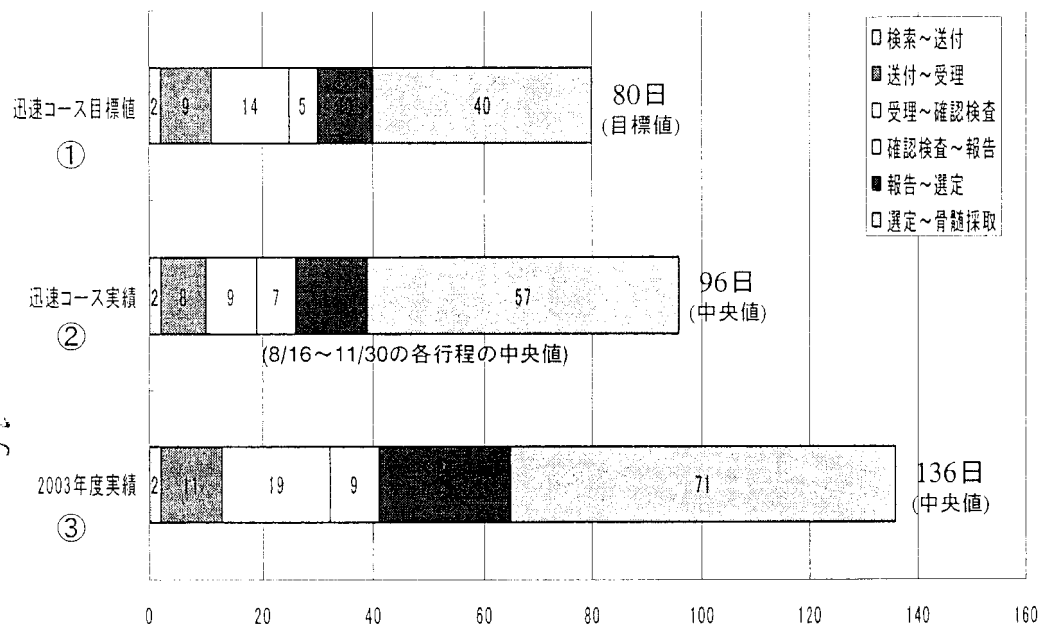


迅速コースコーディネート 中間報告

(100日プロジェクト)

2004. 12. 16~17

ドナーコーディネート期間の比較

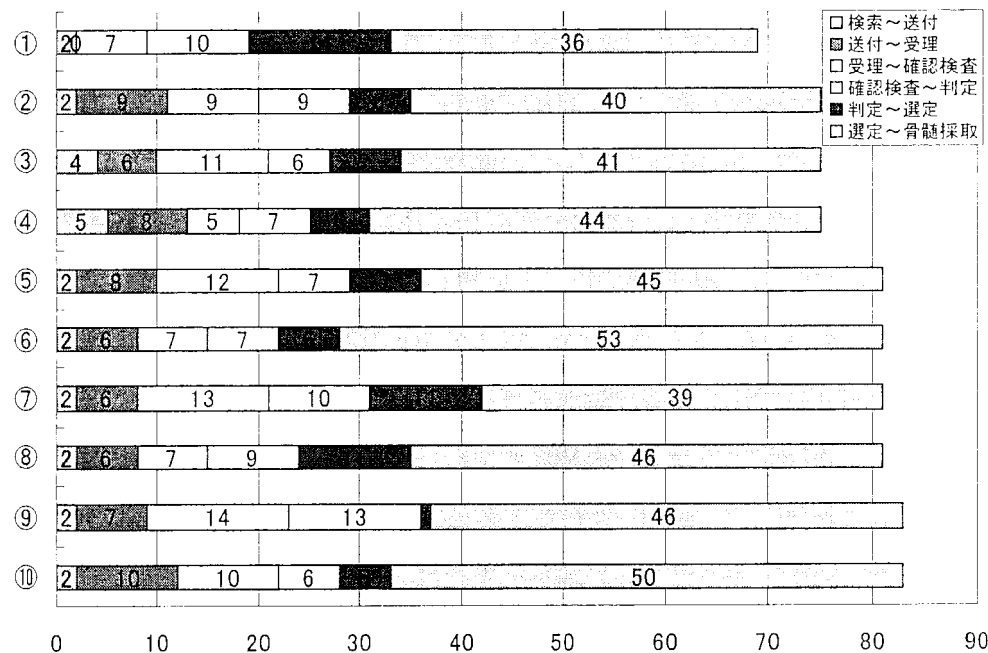


8/16~11/30に実施した迅速コースコーディネートの各行程の中央値を比較しました。

- ②-③ 迅速コース実績と2003年度実績の比較 : -40日でした。
- ②-① 迅速コース実績と迅速コース目標値の比較 : +16日でした。
※ドナー選定から骨髄採取までの日数が長くなっています。

迅速コースドナーのコーディネート期間

11月末時点で骨髄採取日程が決定した上位10事例



期間中の迅速コースとしてコーディネートが進行し、採取日程が決定した上位10例については、ほぼ目標を達成しています。

患者側からみた場合、ひとりのドナーを決めるドナー適格性判定～選定の期間が短いことがわかります。



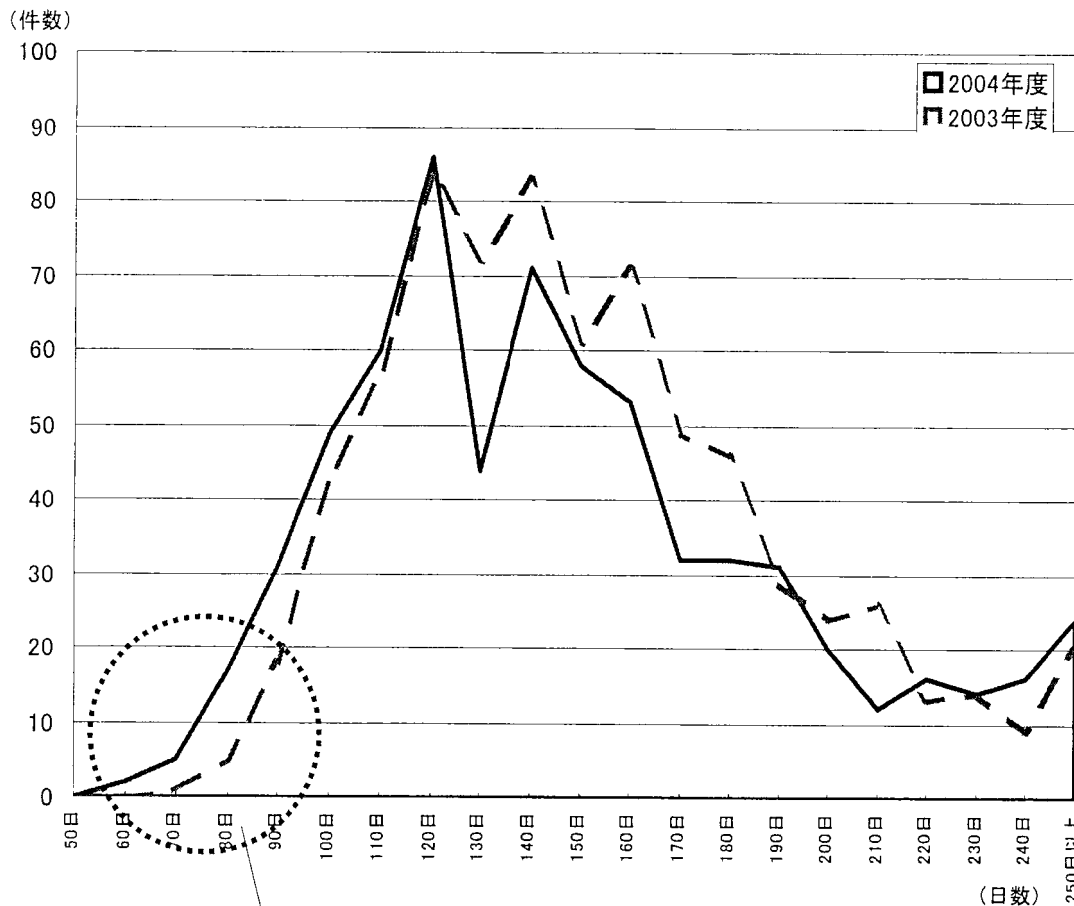
迅速コースコーディネート 中間報告

(100日プロジェクト)

2004. 12. 16~17

ドナーコーディネート期間比較

【2003年度(725件)と2004年度(673件)】
 (但し、2004年度は11月25日までに骨髄採取日程が決定した事例)



前年と比較して、期間が短縮されています。

今後の課題

迅速コース実施にあたり、確認検査実施施設及び採取施設の担当される医師の負担(院内調整等)は大きくなっています。また、ドナーへの負担についても留意する必要があります。

今後推進する上での課題として、確認検査実施施設や採取施設の確保が必要になり、何らかの対応が必要と考えます。

